

2023 年 1 学期 アメリカ政治 I (庄司) 試験問題

注意：持ち込みは不許可です。

【A】、【B】両方にこたえること。【A】と【B】は必ずこの順に、解答用紙のページを分けて書くこと。選んだ設問の番号を【B】4 のように書くこと。

【A】 以下の設問からひとつ選び、今年度の授業内容に沿って 20 行程度で答えなさい。その際、カッコの中の単語を必ず全部使用し、初出の際に下線を引いたうえで、文中でその定義や内容、歴史的意義などを適切に説明すること。(配点 50 点)

1. アメリカにおける市民的自由と市民的権利の特徴を、両者の違いが明確にわかるように説明し、それぞれがどのように歴史的に発展してきたかを代表的な判例や転機となった事件をもちいて論じなさい。
(明示された権限；二重の市民権；プライバシー権；分離すれど平等；リトルロック)
2. アメリカ連邦議会の委員会制度について、その特徴と意義、権限、過去の重要な改革、利益団体の影響を説明しなさい。
(門番としての権限；両院協議会；先任制；小委員会の時代；本会議における投票行動)

【B】 以下の設問からひとつ選び、今年度の授業内容に沿って 20 行程度で答えなさい。(配点 50 点)

3. 現代のアメリカ大統領が、議会との関係において強いイニシアティヴを発揮するためのフォーマル、インフォーマルなリソースについて、できるだけ多くのものを取り上げて考察しなさい。特に近年のメディアの発達と「行政的アプローチ」の関係について詳しく論じなさい。
4. アメリカの官僚制度と政治任用の特徴について論じなさい。さらに、大統領による官僚制に対する統制の試みとして重要な事例を 1 つ説明しなさい。また、議会による官僚制に対する統制について、「本人・代理人関係」の観点からの課題を説明したうえで、2 つの監視方法を比較考察し、「官僚による漂流」と「連合の漂流」のジレンマについて説明しなさい。

(以上)